

I肺がん20

対象疾患	非小細胞肺癌	レジメン名	PEM+CDDP療法 (PP療法)		
1コースの期間 (休薬期間含む)		21日			
総コース数	6コース (※備考欄参照)				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL (ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
2	生食1000 mL	1 P	点滴静注	3時間	day 1
3	アプレピタント125 mg (day 1)、 80 mg (day 2~3) ※ホスネツピタント未使用の場合	1 Cap	経口		day 1 (125 mg)、day 2~3 (80 mg)
4	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
	ホスネツピタント235 mg ※アプレピタント未使用の場合	1 V			
5	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~4 (Max day 2~5)
6	ペメトレキセド (PEM)	500 mg/m ²	点滴静注	10分	day 1
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
7	シスプラチン (CDDP)	75 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
	生食500 mL	1 P			
8	20%マンニトール 300 mL	0.66 P	点滴静注	30分	day 1
9	フロセミド20mg	1 A	静注		day 1
10	生食1000 mL	1 P	点滴静注	6時間	day 1~3
	生食500 mL	1 P			
血管外漏出 リスク分類		PEM: 非炎症性 CDDP: 炎症性			
催吐性リスク分類		レジメン全体: 高度 (PEM: 軽度 CDDP: 高度)			
インラインフィルターの 要不要		不要			
備考欄	※Short hydration法もレジメンオーダーに登録あり。 ※NK ₁ 受容体拮抗薬は、ホスネツピタント235 mg/dayをday 1またはアプレピタント125 mg/day (day 1、抗がん剤投与開始1時間~1時間30分前)、80 mg/day (day 2~3、午前中)のいずれかを投与する。 ※PEMは、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する。 ※PEM投与のため葉酸及びビタミンB ₁₂ の投与も当レジメン開始前より行うこと。葉酸は調剤用パンビタン末®を1日1回1 g (葉酸として0.5 mg相当分)を当レジメン開始7日前から連日経口投与する。ビタミンB ₁₂ は1日1回1000 µg 筋注を当レジメン開始7日前から開始し、9週間毎 (3コース毎)に行う。また、当レジメン終了の際は、いずれも最終投与日から22日目まで投与すること。 ※CDDP総投与量500 mg/m ² を超える場合は蓄積性の神経毒性注意。 ※PEMによるメンテナンス療法を行う場合は、CDDPの併用は4コースで終了すること。				